



【巻頭グラビア】

春色の水景

NATURE IN THE GLASS

ENJOY DOOA

ADA Review

「液体添加剤の使い分けとその実践」

MAKE & KEEP

「DOOA システムアクア30 & ソルスタンドG」

みずくき FOCUS / Plant Art Studio

Amano 考「良寛様の心と世界」



NATURE IN THE GLASS

「春色の水景」

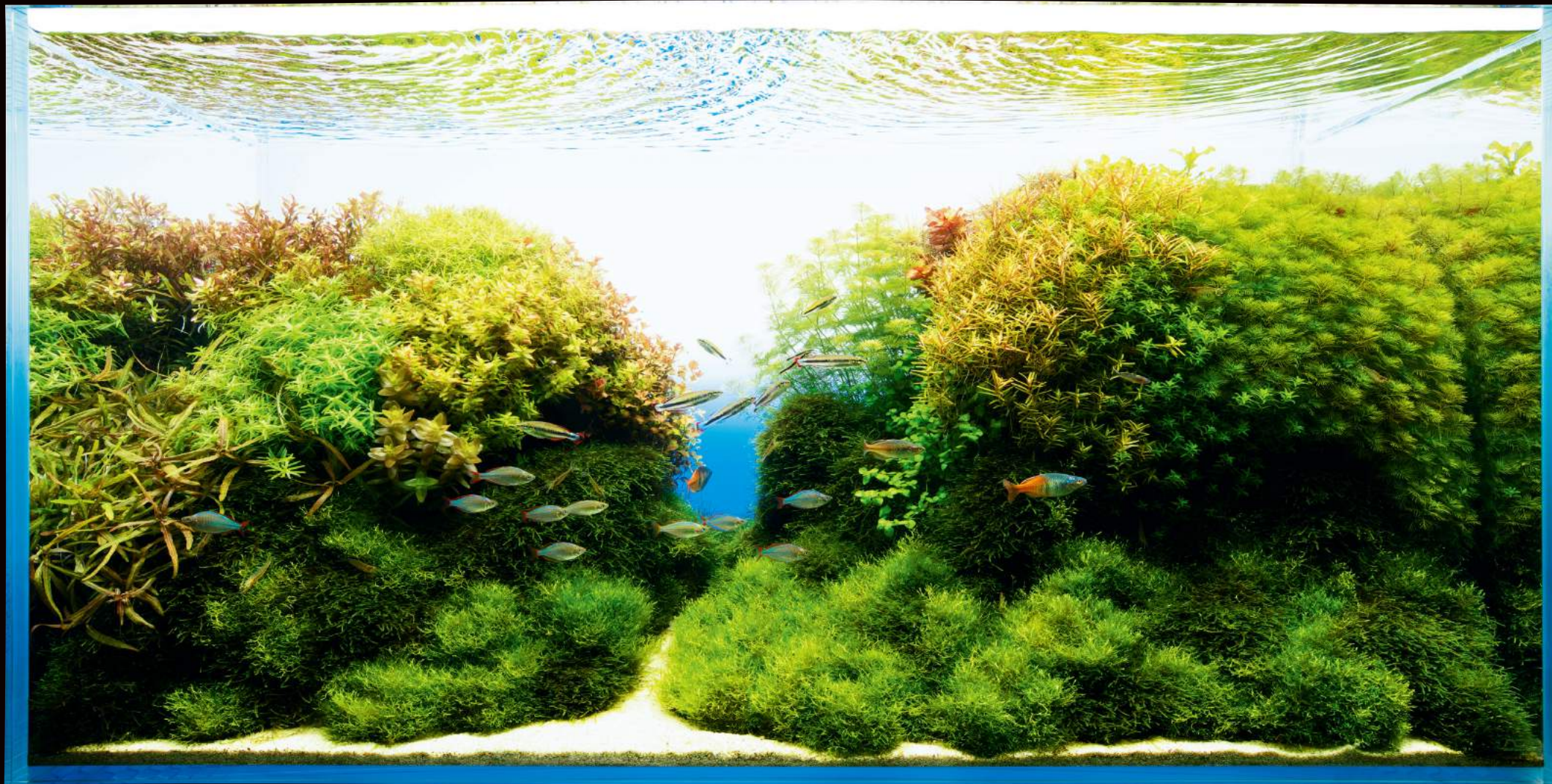
Daisuke Inoue

AQUA JOURNAL vol.270

CONTENTS

- 02 NATURE IN THE GLASS 「春色の水景」
- 10 ADA Review 「液体添加剤の使い分けとその実践」
- 14 ENJOY DOOA
- 18 MAKE & KEEP #05 「DOOA システムアクア30 & ソルスタントG」
- 20 みずくさFOCUS 第5回 「クリプトコリネガーデンを楽しむ」
Plant Art Studio #05
- 22 Amano 考 —ガラスの中の大自然—
第5回 「良寛様の心と世界」

春めいたカラフルな水景にハーブオレンジ・レインボーなどのレインボー系を泳がせることで楽しさや癒しを表現。



©AQUA DESIGN AMANO

NATURE IN THE GLASS

カラフルな有茎草で 楽しい雰囲気表現した 春色の水景

多種多様な有茎草を配植したこのレイアウトは、水草本来の美しさを前面に押し出すことをコンセプトに制作した。観賞者に水景全体から楽しさや癒しを感じてもらえるように、構図の格好良さを求める普通の男性的目線ではなく、魚の可愛らしさや水草の美しさを求める女性的目線を意識している。そのため、印象の強い流木や石などは使用せず、構図素材はモスを全体に巻いた小さめの雲山石を土留めの役割も兼ねて配置するだけとした。また、構図素材を少なめにすることで水草の植栽スペースを広くとり、さまざまな葉姿や葉色の有茎草をバランスよく配植することでカラフルで楽しい雰囲気を表現している。

DATA

撮影日 2017年10月26日 (ADA)
 制作 井上 大輔 (レイアウト制作・文)
 水槽 W120×D45×H60 (cm)
 照明 ソーラーRGB×2基 1日10時間点灯
 ろ過 スーパージェットフィルターES-1200 (ハイオリオM)
 底床 アクアソイル-アマゾン、ラプラタサンド、
 パワーサンドスペシャル、バクター100、
 クリアスパー、トルマリンBC
 CO₂ バレングラス・ビートル500、
 CO₂ビートルカウンターで1秒に3滴 (タワー使用)
 AIR リリイパイプP-6によるエアレーション
 夜間消灯時14時間
 添加剤 ブライティK、グリーンブライティ・アイアン、
 グリーンブライティ・ニトロ
 換水 1週間に1度 1/3
 水質 水温20℃ pH:6.8 TH:20mg/ℓ
 水草 タイガー・ハイグロ
Hygrophila sp. "Tiger"
 ウォーター・ハコバ
Bacopa caroliniana
 ハコバ・オーストラリス
Bacopa australis

水草

ロターラ・マクランドラ
Roatala macrandra
 ロターラ・マクランドラ・グリーン
Roatala macrandra "Green"
 ロターラ・マクランドラ・バンングラデシュ
Roatala macrandra "Bangladesh"
 ロターラ sp. バンングラデシュ (輪生タイプ)
Roatala sp. "Bangladesh"
 ロターラ sp. ワヤナード
Roatala sp. "Wayanad"
 ロターラ sp. マニプル
Roatala sp. "Manipur"
 グリーン・ロターラ
Roatala rotundifolia "Green"
 ルドウィジア・ベルエンシス
Ludwigia peruvensis
 ルドウィジア・オハリス
Ludwigia ovalis
 ルドウィジア・バルストリス・グリーン
Ludwigia palustris "Green"
 レッド・ミリオフィラム
Myriophyllum tuberculatum
 ミリオフィラム・マトグロッセンセ・グリーン
Myriophyllum matogrossense

魚種

パールグラス
Hemianthus micranthemoides
 エウステラリス・タッセン
Pogostemon sp. "Dassen"
 アンブリア
Limnophila sessiliflora
 ウィーピングモス
Vesicularia ferriei
 リシア
Riccia fluitans
 ハーフオレンジ・レインボー
Melanotaenia boesemani
 マダガスカル・レインボー
Melanotaenia gacayi
 ネオンドワーフ・レインボー
Melanotaenia praecox
 サイアミーズ・フライングフォックス
Crossopheilus oblongus
 オトシンクルス
Otocinclus sp.
 ヤマトヌマエビ
Caridina multidentata

有茎草の魅力を引き出す 化粧砂を用いた底床のつくり方と 水草の配植パターン

底床のつくり方は、基本となるパワーサンドとアクアソイルを重ねて敷くパターンほかに、化粧砂とアクアソイルを敷き分けるパターンもあります。化粧砂を用いる場合、ボール紙などの仕切りを使って先に敷き分ける方法と、石などの構図素材で先に土留めをつくってから敷き分ける方法がありますが、このレイアウトでは後者の方法で底床をつくりました。また、有茎草はそれぞれの魅力を引き出すように配植パターンを考えて植栽しました。



1 構図素材の雲山石の下に山水石を積み上げて高さを出す。雲山石にはあらかじめウィーピングモスとリシアを巻きつけておいた。

2 しっかりと土留めをするため、積み上げた山水石の隙間に小さな石を差し込んで固定する。あとでアクアソイルを敷く水草の植栽スペースにはあまり石を置かないのがポイント。



3 レイアウトの前景部分に化粧砂を敷き、雲山石の周りにウィーピングモスを巻きつけた石を配置。水深のある水槽は全体が暗くなりがちなので、化粧砂は明るいラブラタサンドを選んだ。



4 背景部分の水草植栽スペースにアマゾニアを敷く。このレイアウトでは有茎草を多めに使用するため植栽スペースは広めに確保した。



5 ウィーピングモスを巻きつけた石と組み合わせるようにリシアを巻きつけた石を配置。中景にリシアを用いることで水景が明るい印象になる。



6 化粧砂を前景中央から雲山石の後ろに回り込むように敷くことで遠近感を強調している。空間を設けて凹型構図を明確に。



7 植栽がしやすいように背景部分の底床が浸る程度に水を張ってから水草専用ピンセットで有茎草を植栽していく。竹ひこは種類ごとの植栽範囲の目印。



8 葉の細かい有茎草はできるだけ高い密度で植栽することがきれいな茂みをつくるポイント。このような有茎草の植栽には水草専用ピンセットLが活躍する。



9 レイアウトのポイントとなる赤系有茎草の植栽場所は特に重要。生長した水草の茂みをイメージして種類と植栽する場所を決める。



10 有茎草は葉の大小や色の濃淡によって配植を考える。赤系有茎草の背後に緑の有茎草を植栽すると赤の発色がいっそう引き立つ。



11 茎の長い有茎草は植栽したあと同じ方向に倒すようにすると広い面積でも植栽しやすい。茎を底床に斜めにさすと抜けにくくなる。

水景
構図



©AQUA DESIGN AMANO

多種多様な有茎草で 明るい春の印象と遠近感を表現した 凹型構図のレイアウト

有茎草は生長するに従って根元のほうの下葉が落ち、白い根も出てくるため見苦しくなります。一般的なレイアウトの場合は中景にシダ類などを配置することで有茎草の根元を隠しますが、このレイアウトでは横に広がりやすい有茎草を手前に植栽することで背後の有茎草の根元を隠すテクニックを用いました。このように多種の有茎草で茂みを構成する場合、生長速度の違いを考えて種類ごとに高さを変えてトリミングを行うことがポイントです。



左側の茂みの後方を構成するロータラ sp. バングラデシュとロータラ sp. ワヤナードは、葉が細かく背景に適した有茎草。

右側の茂みではアンブリアの葉が良いアクセントとなり、ロータラ・マクランドラの濃い赤を引き立てている。



頂芽がきれいに生えそろったロータラ・マクランドラ・グリーンが茂みの一体感を演出。



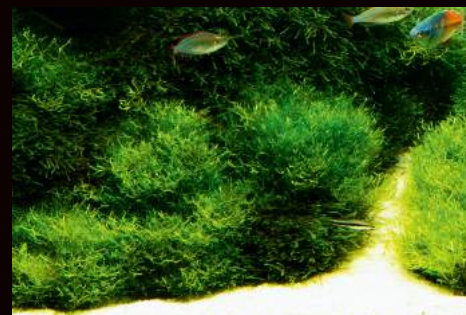
水景
植栽

構図素材に小ぶりな雲山石を使用しているため、まだ有茎草が生長していない植栽直後の状態は非常に平坦な印象。



水景
完成

©AQUA DESIGN AMANO



前景に明るいラブラタサンドを敷きリシアを配置することで水景に明るい雰囲気演出。



左側の茂みでは手前のタイガー・ハイグロとグリーン・ロータラ、ウォーター・バコバが後方の茎の根元を隠している。



右側の茂みでウィーピングモスが活着した雲山石の間を埋める鮮やかな緑のバコバ・オーストラリス。小さめの丸い葉が印象的な有茎草。



茎が横に広がりやすいミリオフィラム・マトグロッセンセ・グリーン。トリミングで葉の密生感が高まり、きれいな茂みとなった。



液体添加剤は
水槽内の環境に応じて
使い分ける

ネイチャーアクアリウム・ギャラリーでは、約30本程の水槽が管理されており、いろいろな種類の水草やレイアウト素材が使われています。そのため水槽の状態もさまざまで、管理スタッフはその状況に応じて液体栄養素をうまく使い分けて管理を行っています。基本となる液体栄養素は、水槽内では不足しがちなカリウムを補給するブライティKと微量元素を補うグリーンブライティ・ミネラルで、水草植栽後から2カ月位を毎朝、照明点灯後に添加しています。なお使用する水道水のpHや炭酸塩硬度(KH)が高い場合や龍王石などの石や砂利を多用しpHが上昇しやすい場合

などは、ブライティKの代わりにグリーンブライティ・ニュートラルKを添加することによってpHやKHの上昇を極力抑えるようにするといいでしょう。そして水草の生長が最も盛んで最初の旬を迎えるころとなる2~3カ月以降は、葉色アップに効く鉄分を多く含んだグリーンブライティ・アイアンをさらに加え、鉄分不足による白化や生長不良を防ぐように管理を行っています。ネイチャーアクアリウム・ギャラリーでは日々のこうした管理によって、美しい水景づくりが行われており、それらの経験が製品開発にもいかされているのです。

※本文の添加パターンは、2018年2月20日時点のものです。

「カリウム添加は水質の影響を考慮して選択」

ブライティK

底床にアクアソイル-アマゾンを使用し、この水景は、メインとなる水草がパールグラスであることからpH、KHがやや高めの方がいいことから「ブライティK」の添加が効果的な水槽です。制作から2カ月を過ぎパールグラスの生長にも勢いがついてきたので「アイアン」に加え「ミネラル」を添加するところですが、ここではまだ栄養過多も配慮しつつ「アイアン」だけの添加としています。



「pH、KHの上昇のないカリウム添加」

グリーンブライティ・ニュートラルK

春のギャラリーリニューアルオープンに向けて制作された新サイズの150cm水槽。龍王石と化粧砂を使っていることから、pHやKHの上昇が懸念されます。多少の上昇は問題視することはありませんが、より良い状態でオープンに間に合わせるためにはpH、KHの影響による生長の鈍りは避けたいところ。そのためカリウム添加には「ニュートラルK」を使用しています。



「窒素分を補い草体を健康に育てる」

グリーンブライティ・ニトロ

ビギナーでもセット初期の水質コントロールがしやすいアマゾン-ライトを底床に使用した水槽のため、水草は比較的ゆっくりな生長を見せています。アマゾン-ライトとの差は主に窒素分ですが、ここではすでに藻類の発生も落ち着いてきているため、窒素分を含んだ「ニトロ」を添加して水草の生長を促しています。底床材とは違い窒素分が多いと感じたら、添加量を調整したり、換水によってコントロールできるのが液体栄養素のメリットです。



LIQUID FERTILIZERS & ADDITIVES

「液体添加剤の使い分けとその実践」

「微量元素を含んだ基本栄養素」

グリーンブライティ・ミネラル

制作して10日程が経過した150cm水槽で、有茎草やリシアは順調に水中葉を展開し始めています。ここではセット初期の基本である「ブライティK」と「ミネラル」の組み合わせで栄養素添加をスタートしています。添加量は規定量となる15ml (20ℓに対し1ml) をそれぞれ、照明点灯後に添加。1プッシュ1mlのプッシュボトルなので正確な添加も簡単です。



「熱帯魚の故郷の水を目指した水づくり」

ビタミンクス

自然の河川の水には、生物由来のさまざまなビタミン類が溶け込んでいて、それらが魚の生理的機能の調整に役立っています。そんな自然の水のように各種ビタミン類を補給してくれるのが「ビタミンクス」であり、水槽に魚を導入したときから添加を開始しています。また換水時にも添加することで、魚や水草の健康維持に加え、微生物の働きが活性化して水槽内の環境も整います。



「鉄分に特化し葉色アップを図る」

グリーンブライティ・アイアン

美しい有茎草の群生が見られ撮影を間近に控えた水景です。「ブライティK」の他には葉色を上げるために「アイアン」を添加。特に赤系の有茎草には効果的で、この水景でも有茎草の赤が見事に引き出されています。また草体の量も多く、藻類の発生が見られないことから「ニトロ」で窒素分も補っています。この「ニトロ」の添加によって、水草は健康な草体に仕上がります。なお、有茎草の繁茂にともない、添加量は1.5倍に増やしています。



「水槽セット初期の白濁を素速く除去」

クリアウォーター

この大型水槽は水草植栽直後であるため、水はやや白く濁り気味。これは水槽セット初期によく見られる現象で、適切に換水を行い微生物による水の浄化能力が機能し始めれば自然となくなります。しかしながら「クリアウォーター」を添加し換水を行えば、水はすぐに透明度が高まります。またそれと同時にリン酸塩を除去する効果もあるので、藻類の発生も抑えられまさに一石二鳥。水槽セット初期には、欠かせない添加剤です。



「水道水の塩素中和を確実にを行う」

クロロオフ

ギャラリーのあるここ新潟はご存知の通り水に恵まれた地域であり、水道水の水質は通年でpH6.8、KH \leq 2dH $^\circ$ 、TH \leq 20mg/ℓとなっています。そのため塩素中和だけしっかり行えば、水草の育成に適した水が得られます。水道水の残留塩素は、魚だけでなく水草にも有害です。換水時には「クロロオフ」を添加して確実に残留塩素の除去を行わなければなりません。



「多くの水草が好む弱酸性に整える」

ソフトウォーター

龍王石と化粧砂を使った水槽では、pHやKHが上昇しやすくなります。この水景もそうしたケースであり、大量の換水時には「ソフトウォーター」を添加して、できるだけpH、KHの上昇を抑えるようにしています。pH、KHの上昇は、ここで使用されている水草の一つであるボゴステモンsp. "ダッセン"などは頂芽の白化現象を引き起こしやすく、多くの水草にとって水の弱酸性化は有効です。





DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

黄虎石を用いた ネオグラス テラの 新感覚レイアウト

これまでのアクアテラリウムの作例では、さまざまな種類の有茎草を用いたにぎやかな印象のものや流木とシダ類を用いた落ち着いた印象のものが多かったので、今回は新感覚のシンプルなレイアウトを目指して制作した。水中部分は黄虎石とコロラドサンドで荒々しい大地をイメージして構成し、水上のウォール部分ではツル状の水草で新たに生まれた生命の勢いを表現している。また、個性的なアマゾンチドメグサのインパクトを強調するためにレイアウトに使用する水草の種類はあえて少なくした。そんな水中と水上の対比がこのレイアウトのコンセプトとなっている。

アクアスカイG 601

ネオグラス テラ (H36)

W60×D30×H16 / 36 (cm)

侘草ウォール 60

ウッドキャビネット (オフホワイト)

W60×D30×H70 (cm)

CO₂カウントディフューザー

ストリームパイプ V-1

スーパージェットフィルター ES-150

NAコントロールタイマーII

アクアソイル-アマゾン

コロラドサンド

【水草】

アマゾンチドメグサ

オーストラリアン・ドワーフ・ヒドロコチレ

侘草 ニューラージパールグラス

侘草マット ウィローモス

【魚種】

ゼブラダニオ

サイアミーズ・フライングフォックス

オトシクルス

ヤマトヌマエビ

2017年10月25日 撮影 (ADA)

レイアウト制作・文 井上 大輔

©AQUA DESIGN AMANO





DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely, naturally and easily, and equipped with a platform enabling everyone to enjoy aquatic flowers. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.



構図素材の黄虎石は前景部分の化粧砂と水草植栽スペースのアクアソイル-アマゾンニアを仕切る役割も持つ。底床が薄い
ため細かく砕いた石で角度を固定した。



個性的なツル状の姿をしたアマゾンチドメグサが水上だけでなく水中にも展開し、このアクアテラリウムの景観をひと
きわ印象的なものになっている。



水中部分に遠近感を表現するため中央に空間を設けた。黄虎石の背後にはニューラージ・パールグ
ラスの佗び草を配植。佗び草を使用することで後方からアマゾンニアが崩れてくるのを防いでいる。



ウォール部分にはウィローモストツル状の水草のみ
(アマゾンチドメグサ、オーストラリアン・ドワーフ・
ヒドロコティレ)を使用することで印象を強めた。

©AQUA DESIGN AMANO

シンプルな構成によって 印象的なアクアテラリウムをつくる

このアクアテラリウムでは、レイアウトを構成する要素を極力シンプル
にすることで、インパクトを強める方法をとっています。まず、構図素材
には個性が強い黄虎石を使用し、同系色のコロラドサンドとの組み合わ
せによって荒涼とした印象の景観を表現しました。さらに、黄虎石の背
後に背の低いニューラージ・パールグラスを配植することで、この荒涼
とした印象を際立たせています。そんな水中部分とは対照的に、佗び草
ウォールにはツルを盛んに伸ばす水草を配植することで生命の勢いを
表現。ツル状の水草を佗び草ウォールの左右に凹型構図のように配置
することで、水中部分の中央に設けた空間との連続性を出しました。

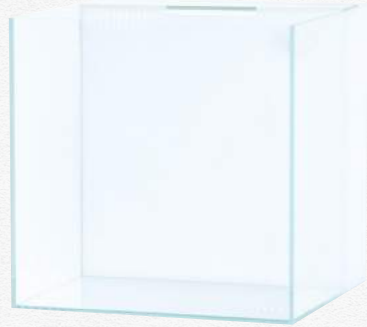
MAKE & KEEP

DOOA システムアクア 30と ソルスタンドGで楽しむ 有茎草とリシアの明るいレイアウト

DOOA INTEGRATED AQUARIUM

SYSTEM AQUA 30

DOOA システムアクア 30



ろ過槽一体型のシステム水槽。ソルスタンドGと組み合わせた場合、佗び草ハンガーを使用したオープンアクアリウムも可能になる。ソルスタンドGはシステムアクア30での使用を想定して設計されており、専用の水槽固定パーツも用意されている。
(外寸W30×D30×H30 (cm)、ろ過槽を除く水槽部分W30×D20×H30 (cm))

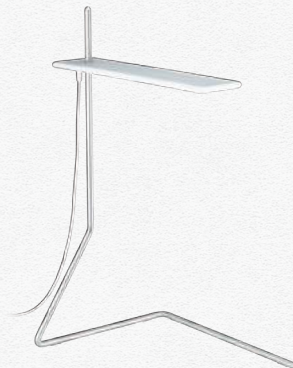
ろ過槽一体型で簡単に設置できる DOOA システムアクア 30

小型水槽は簡単に設置できるイメージがありますが、実際に水草レイアウトをつくらうとすると、フィルターや照明器具、CO₂添加システムなどが必要となり、水槽システムの構成としては60cm水槽や大型水槽などとほとんど変わりません。特に水をろ過するフィルターは壁掛け式にせよ外部式にせよ設置するためのスペースが必要になり、本体だけでなくパイプやホースにより水槽周辺的美観を損なう問題があります。DOOA システムアクア30はろ過槽を組み込んだシステム水槽で、W30×D20×H30 (cm) の

DOOA LIGHTING SYSTEM

SOL STAND G

DOOA ソルスタンドG



同じDOOAシリーズのシステムアクア30やシステムテラ30、ネオグラス エアなどの小型水槽に対応するLED照明器具。照明ユニットはスタンドに沿って上下に動かせるだけでなく、スタンドを軸に前後にスイングできるため、トリミングや換水など水槽の管理も行いやすい。
(消費電力18W・最大光束1500lm)

小型水槽として水草レイアウトや魚の飼育を楽しむことができます(ろ過槽を含む外寸はW30×D30×H30 (cm))。ろ過槽の容積は一般的な小型水槽用の壁掛けフィルターよりも大きく、スポンジろ材やポンプもセットに含まれているので簡単に設置することができます。また、パイプやホースが外に出ていないので、水槽周辺的美観を損なうこともありません。ろ過の仕組みとしては、水槽左側上部のスリットからろ過槽に水が入り、ろ過槽を通過した水が右側上部の出水部からポンプで水槽に戻る構造になっています。なお、システムアクア30には照明器具は含まれていませんが、同じDOOAシリーズのソルスタンドGを組み合わせることで完全なシステム水槽となるように設計されています。

メイク&キープ

このコーナーでは、ネイチャーアクアリウムやアクアテラリウムのレイアウトをつくり(メイク)、維持する(キープ)うえて役立つノウハウや製品情報を毎号紹介していきます。今回はDOOAのシステムアクア30とソルスタンドGでつくる手軽な水草レイアウトを紹介します。一足早く春を感じられる明るい水景をお楽しみください。

明るい光で陽生水草も健康に育つ DOOA ソルスタンドG

小型水槽に限らず、水槽で水草が健康に育たない最も多い原因は照明の照度不足です。特に小型水槽用として販売されている照明器具の多くは水草を育成するには照度が低く、水槽を観賞することはできても水草は健康に育たない場合が多いのです。水草は水中で光合成を十分に行うことで初めて健康に生長できますが、そのためには十分な明るさ(照度)の照明器具が必要になります。DOOAのソルスタンドGは小型水槽に適した水草育成用のLED照明器具であり、その開発にはネイチャーアク

アリウム用の照明器具であるソーラーRGBやアクアスカイGの開発で培ってきたADAのノウハウが生かされています。ソルスタンドGの光は、水草が健康に育つ明るさであることはもちろんですが、ソーラーRGBやアクアスカイGと同様に水草の緑が従来の水槽用LED照明器具よりも鮮やかに見えることが最大の特徴です。その実力はシステムアクア30と組み合わせることで最大限に発揮されます。ここで紹介している作例は佗び草有茎草MIXとリシアを用いたレイアウトですが、有茎草やリシアは育成に特に明るい光を必要とする陽生水草で、これらが健康に美しく育っているということは照明が十分な明るさであることを意味しています。



システムアクア30とソルスタンドGを組み合わせることで、有茎草やリシアなどの陽生水草を使用したレイアウトが可能になる。水草育成用に開発されたソルスタンドGの光で、陽生水草が健康に美しく育ち、水草の緑も鮮やかに見える。

ネイチャーアクアリウムにおいて、影の立役者であるクリプトコリネ。東南アジアを中心に自生するクリプトコリネは、それぞれが多様な個性を持ち、古くから世界中の水草愛好家を魅了してきました。今回はDOOAネオグラスエアを使ったクリプトコリネの水上葉の楽しみ方をご紹介します。

「クリプトコリネガーデンを楽しむ」

サトイモ科であるクリプトコリネの仲間は、多様な姿で私たちを魅了してくれます。日光がよく当たり流れがある場所に自生するCry.バランサエは、細長い葉を展開させます。対して、鬱蒼とした湿地林にひっそりと自生するCry.ロンギカウダは、比較的丸い葉をしています。葉は形だけではなく、滑らかなものや凹凸ができるハンマートーンのもの、模様や色味もさまざまです。クリプトコリネは花の観賞価値も高く、「花序が隠されている」という意味です。その名の通り、花序は、特徴的な仏炎包に隠されています。そんな魅力的なクリプトコリネをDOOAで楽しみましょう。ネオグラスエアを使用すれば、手軽にライフスタイルの中で楽しむことができます。水上葉を楽しむ場合は、ネオグラスエアW15×D15×H25(cm)かW15×D15×H30(cm)が適しています。始めやすい種類は、Cry.スピラリス・レッドやCry.ウェンティの仲間です。これらは、丈夫で植栽も簡単な「BIO みずくさの森」でラインナップされています。底床は、過度な嫌気性を防ぎ、根の展開を促すパワーサンドスペシャルSを1cmほど敷きます。その上から深さ5cm程になるようにトロピカルリバーソイルを敷きま

す。トロピカルリバーソイルは、熱帯植物のイメージによくマッチします。トロピカルリバーソイルには、状況に応じてマルチボトムなどで適宜栄養を補っていくといいでしょう。水上栽培の場合、水位はソイルの高さ以下が適切です。クリプトコリネを状態よく楽しむためには、ネオグラスガラスフタが役に立ち、湿度を保つだけではなく、落下してくる埃やカビなどの混入を防ぐ効果もあります。また、完全密封ではなく適度な隙間があり、中の空気が淀みません。照明はデザイン性に優れ、ネオグラスエアと相性がよいソルスタンドGを使用します。照明ユニットの高さが調整できるため、栽培するクリプトコリネの種類により光量を加減します。決して派手ではありませんが、深い魅力を持つクリプトコリネ。そんな彼らが、私たちに「陰ながら」癒しの水草ライフを与えてくれることは間違いありません。

1. 「クリプトコリネ・スピラリスタイガー」
2. 「クリプトコリネ・ウェンティミョウ」
ソルスタンドG+ネオグラスエア W15×D15×H25 (cm)
3. 「クリプトコリネ・ロンギカウダ」
ネオグラスエア W15×D15×H25 (cm)



1.

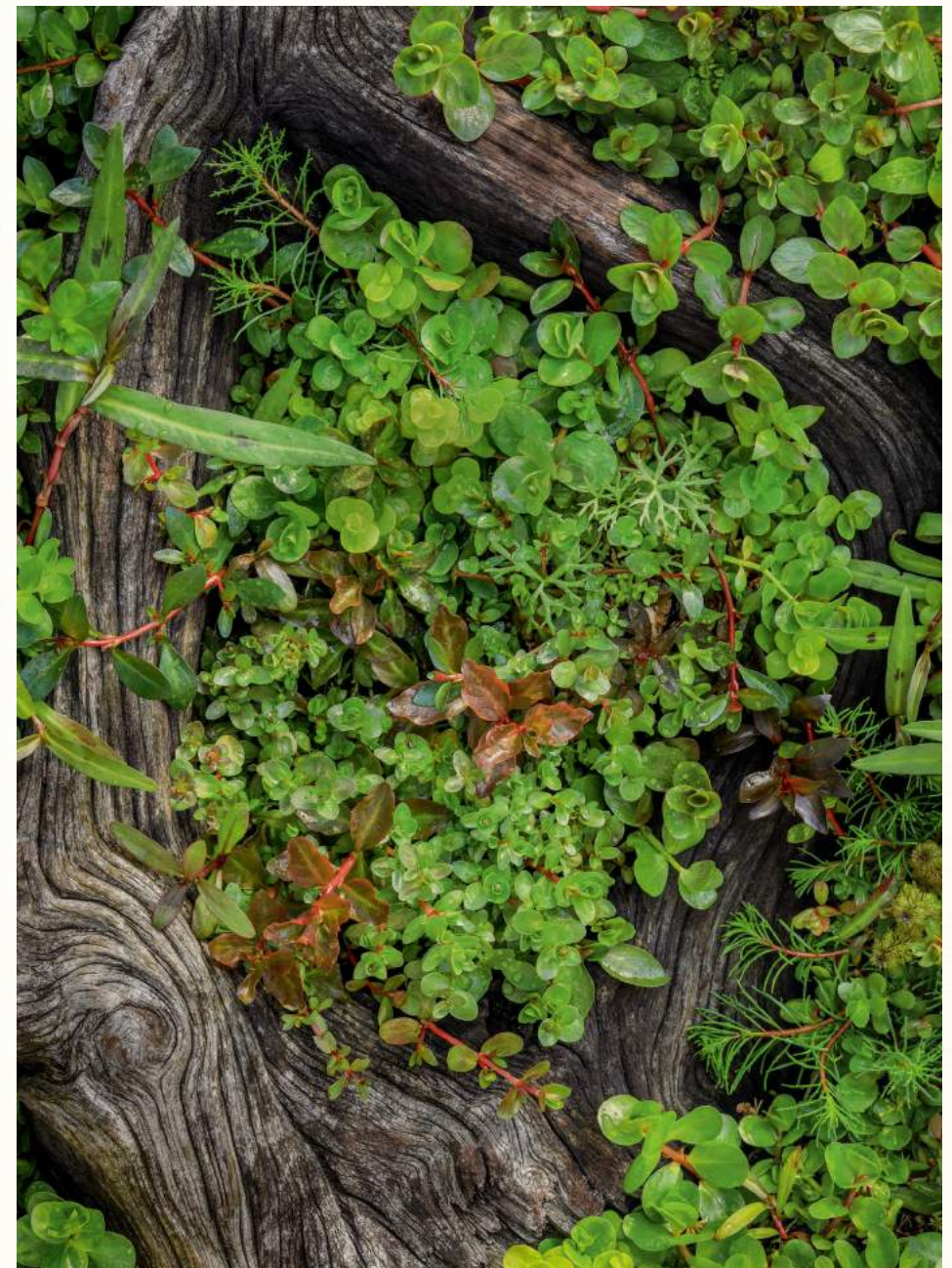
2.



3.

Plant Art Studio

プラント アート スタジオ



05

流木の質感と植物の緑は相性がいい。
それは流木がいずれ土へと還っていく、大自然の営みの中にあるからかもしれない。

写真/本間 裕介



1992年に出版された天野尚水草レイアウト作品集「ガラスの中の大自然」で天野が綴ったエッセイを再掲載しています。ネイチャーアクアリウム作品のバックボーンとなる天野尚ならではの自然観や経験に触れることができます。

考

[Amano-ko]
ガラスの中の大自然

「良寛様の心と世界」 写真・文/天野尚



編集部注：雪割草は平成20年3月1日に「県の草花」に指定。

江戸時代の名僧良寛様は、自然をこよなく愛し人間として秀逸な方であると現代においてもその人柄を偲ぶ人が多い。子どもの頃教わった私たちの良寛像は、スマレの花をこよなく愛し和歌を詠み手塚つきつ子供らと遊ぶ人間味豊かな僧の姿である。春を今か今かと待ちわびた良寛様は、雪解けと共に山野を歩かれたことだろう。この季節、良寛様の詠まれた歌に菫草(スマレ草)がよく出てくる。たとえば、「菫草さきたる野べに宿りせむわが衣手に染まば染むとも」ところで、この歌の冒頭などに出てくる菫草を新潟青陵女子短大の長島義介教授が、本当は雪割草であるとの新説を唱えられた。筆者は先生の説を詳しくお聞きし、間違いなくそれは雪割草であったろうと確信している。先生の言葉を借りれば「雪国に分布し、世界で最も美しく、冬の厳しさに耐え、春には色とりどりに明るく咲き乱れる雪割草こそ雪国を代表する花である」と結んでおられる。この雪割草は花を待ちわびる雪国の代表的な山野草であり、新潟を代表する花である。ところが新潟の県花はチューリップであり、この両花、花が付く時季もほとんど同じ雪解の頃である。長い長い雪国の冬が終わり、春めいてくると、新潟の砂丘には色とりどりのチューリップが咲き乱れる。赤、紫、白、黄、黒、などらかな

丘陵とところ狭しと咲くチューリップは、色彩的に見ても色の洪水といった感がある。春の青空にそれら原色の花々が映えた風景は、雪国新潟の美しい風物詩であるが、そこに風車でもあればチューリップの故郷オランダと何ら変わりがあるまいと思うことがある。外国の花を県花にしたことに異議を唱える訳ではないが、ただアクアの世界でいうオランダ流ダッチアクアリウムがチューリップの風景を原点とするならば、さしずめ私の提唱するネイチャーアクアリウムは「野辺に咲く雪割草の世界であり、良寛様が詠まれた歌の数々が原点である」と思っている。多少こじつけかもしれないが、私はそこにオランダ流と日本流の相違を見出していた。欧米人は色彩的な集合美などを庭園や花壇などに用い、そのままアクアリウムの植栽術に用いている。ところがわが国の自然美は自然の風景の中からとらえるところから始まっており、これはいわば日本人独自の自然感である。侘び寂びの世界は庭園や盆栽の世界にとどまらず茶や生花など礼儀作法の世界から茶器にいたるまで、生活様式の隅々に入り込んだ自然思想である。これらは日本人が世界の民族に誇れる文化であると言いたい。そして写真に見る水景*も、広大な自然を枕に生きた良寛様の歌を感じつつ作った作品である。

1992年出版 天野尚 水草レイアウト作品集「ガラスの中の大自然」(マリン企画)より

*写真は本誌編集にあたり雪割草の写真に変更してあります。

INFORMATION

RENEWAL OPEN

03.18.2018

新作レイアウト、鋭意制作中!

NATURE AQUARIUM GALLERY

現在、ネイチャーアクアリウム・ギャラリーでは、水景クリエイターたちが3月18日のオープンに向けて新作レイアウトの展示準備を進めています。またギャラリー内には、ADA製品の陳列スペースを新たに設けるなど展示内容も充実。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

THE INTERNATIONAL AQUATIC PLANTS LAYOUT CONTEST 2018

オンラインエントリー受付開始
04.01.START → iaplc.com
オンライン応募・詳細は公式ウェブサイトから。

NEXT AQUA JOURNAL

MAY.2018 vol.271

2018年4月10日(火) 発売

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

STAFF CREDIT

Editor
大岩 剛
阿部 正敏
本間 裕介
岩堀 康太

Publisher
天野 しのぶ Shinobu Amano
Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
Printed by
株式会社山田写真製版所

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 悟司
市川 亮

Satoshi Maruyama
Ryo Ichikawa

■本誌に掲載されている写真・記事の無断転載を禁じます。
■ADA編集部では、本誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。またご意見等は、葉書、封書、メールなどでお寄せください。
©2018 AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
Printed in JAPAN

〒953-0054 新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1
ADAサービスセンター/0256-72-1994 (平日10:30~17:30)

株式会社アクアデザインアマノ
<http://www.adana.co.jp>





NEW ADA NATURE AQUARIUM GOODS CO₂ FOREST BOTTLE

新たなADAのフォレスト誕生。

